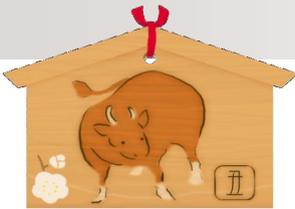


山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



平成21年己丑 住職年頭挨拶

謹賀新年

「面白き こともなき世を 面白く」(高杉晋作)

幕末に活躍した長州藩(山口県)の志士、高杉晋作の辞世の句と
 言われております。残念ながら結核にて27歳で天逝しましたが、
 その影響力は大きく、幕末から明治維新へと続く時代を駆け抜けた
 生涯でありました。

この句には、その当時看病をしていた野村望東尼が「すみなすもの
 は 心なりけり」と続け、それを聞いた晋作が「面白い」と言っ
 て息を引き取ったと伝わっております。

この句は有名でありますので、解釈が幾つかあります。私見とし
 て、面白くない世の中を面白く変えていこうといった気概が読み取
 れることと思われれます。また下の句を付け加えるのであれば、心の
 持ちようあり方で、世の中が面白くもつまらなくもなるものかと。

昨年を振り返り、面白い時間を過ごせた
 かどうか?お勤めも、友人や家族と過ごす
 時間も、自身の時間も、楽しんで過ごせた
 かどうか?同じ時間を過ごすのであれば、
 一所懸命に行じていきたいものです。
 本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



りょうどう

平成21年 年回表 ↑昨年8月誕生「諒道」

一周忌	平成二十年	二十三回忌	昭和六十二年
三回忌	平成十九年	二十七回忌	昭和五十八年
七回忌	平成十五年	三十三回忌	昭和五十二年
十三回忌	平成九年	五十回忌	昭和三十五年
十七回忌	平成五年	百回忌	明治四十三年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。

平成21年

龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/8 大般若・大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7月下旬 第27回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10/17檀信徒参拝研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催
- ※宗務所執務日は月水金

大施食会及び蚕影山例祭などのお知らせ

今年も恒例の行事であります当寺大施食会及び蚕影山例祭の法要が、4月29日（昭和の日）に修行を予定しております。また、その際に併せて檀信徒総会も開催予定。当寺檀信徒の皆様は、是非ご参集賜りたく存じます。檀信徒総会では、ここ数年総代人世話人会議はじめ当寺報でも通知しています通り、本尊様を含めました仏像修復計画についての討議もさせていただこうと考えております。



↑ 施食会前の法話の様子

また、法要に先立ちまして行わせていただいております企画ですが、本年は藤岡警察署の警察官の方に講演を依頼しております。住職が役員を務めます吉井町仏教会と藤岡警察署が、地域社会の防犯などを図る目的で相互協力関係を締結したのは昨年秋のこと。上毛新聞にも大きく取り上げられ、官民一体となった活動に大きな期待が寄せられております。その一環として、本年は振込詐欺などに見られる様々な犯罪に対する対策など、専門の方に判り易く話していただこうと思っております。

昨年は高崎市大雲寺御住職であり群馬県梅花部長であります仁科清信老師に梅花法話を賜り、一昨年には歴代住職墓地開眼法要、ほか開基家裔孫である窪田広氏による歴史講演や住職友人の講談師櫻井若洲師匠による講談などを行わせていただきました。御蔭様で檀信徒軒数よりも多い毎年80名ほどの参列の方々が来られ、盛会裡に法要を務めさせております。以前には、「筍会」という名称のとおり、法要終了後には檀信徒会館にて当寺竹林で採れた筍料理なども振舞われます。また、参加されたことのない方は是非、この機会にご来山いただければ幸甚に存じます。

なお、詳細は後ほど当寺より通知が届きますので、そちらをご参照ください。

ぼだいだるまぞう たいげんしゅりぼさつぞう

龍源寺探索-22- 「菩提達磨像と大権修理菩薩像」



← 菩提達磨大和尚像（上）と
招宝七郎大権修理菩薩像（下）

今回の探索では、龍源寺本堂内陣に祀られている、菩提達磨大和尚像と招宝七郎大権修理菩薩像をご紹介します。

禅宗のほとんどの寺院の本堂内陣に対になって祀られることの多い両像です。達磨像はダルマさんで有名な達磨大師で、禅宗の祖と云われている方です。6世紀の頃のインド出身で、中国に渡り、少林寺で九年間坐禅修行をし、仏法を広めました（面壁九年）。一方の大権修理菩薩は、土地及び伽藍（寺院の建築物）の護本尊とされている菩薩様です。

いずれの尊像共に、先代である二十九世大顯啓司大和尚代の平成十三年四月の当寺大施食会に併せて東京の故白田庄次氏による寄進で納められ、その際に開眼法要をさせていただきました。それまでは、尊像はなく画像に映っている位牌がその代わりを勤めておりました。

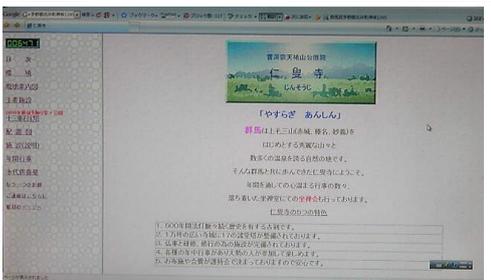
こうえん

渡辺晃苑書業四十五周年記念個展開催

昨年11月20日～30日に掛けて、前々住職渡辺隆司夫人の渡辺テル（号、晃苑）の書展が、多胡碑記念館（矢島正義館長）で開催されました。書道に出会い、45周年を記念し、開催された初の個展であり、多数の方々が参観して下さいました。また併せて自身の主宰する仁叟寺書道教室「雅道会」の12人の門人展も開催。檀家でもある書家金澤子卿高崎書道会長に師事し、今回の書展では同じく檀家で元群馬大学教授の画家町田洋二先生と共に賛助作品も出展して下さいました。

書家としても、県展の第一席を獲得し、吉井町書道協会の初代会長を歴任。85歳になる現在も、仁叟寺にて書道教室「雅道会」を主宰し、後進の指導に当たっております。

仁叟寺通信-25-「HP」



←新ホームページ(上)と旧ホームページ(下)

各種参禅研修会報告

昨年も仁叟寺では個人団体による参禅会が開催されました。昨年の主だった団体による参禅研修会を右の通りご報告申し上げます。参禅研修会を考えている学校会社など団体組織がございましたら、当寺までお問い合わせ下さい。

なお、定例坐禅会は毎週水曜日午後7時から修行しております。関心のある方は、是非一度足をお運びいただければと思います。

→仁叟寺東堂夫妻
↓上毛新聞に記事が掲載されました



仁叟寺HP（ホームページ）が新しくなりました。新しいページにはフラッシュ機能もあり、開くと仁叟寺大梵鐘が鳴る設定になっております。ほか、PDF形式にて今までの当寺報「山雲水月」が閲覧出来るようになっております。住職の運営するブログ「山雲水月」ともリンクしており、仁叟寺に伝わる開運御籤もありますので、運試しも含めご高覧いただきたく存じます。

なお、旧HPも今まで同様、閲覧可能です。それぞれのアドレスは以下の通りです。

仁叟寺HP（新）<http://jinsouji.net/>
（旧）<http://www7.wind.ne.jp/jinsouji/>

日時	団体名	人数
元旦	年越し坐禅会	10名
1月20日	藤岡東中学校野球部	30名
4月7日	サンコーグループ	50名
6月7～8日	高崎経済大学武井ゼミ	10名
6月21～22日	群馬県曹洞宗青年会緑蔭禅の集い	75名
7月28～29日	第27回仁叟寺子供禅の集い	45名
9月12～13日	第一テクノ株式会社	25名
9月18～19日	東洋大学仏教会及び仏教青年会	15名
11月6日	東京農業大学第二高等学校講師会	25名

【特別寄稿】 東毛の名刹を訪ねて 総代長 小林茂



筆者の小林茂総代長

十月十八日、朝から一日中好天に恵まれ、また仁叟寺龍源寺の方丈様、関係者の皆様方の手厚い旅行ガイドに依って、私達は有意義で楽しく心が安らぐ旅行が出来ました。

朝七時三十分、東観光のバスで三十六名乗車。仁叟寺様を出発、吉井インターより伊勢崎方面へ。最初の目的地、草木ダムと星野富弘美術館へ。草木湖の紅葉を見物、美術館では星野富弘氏の絵を見学いたしました。首から下が不自由な星野さんが口を使い描いた花の絵が館内に展示されており、半日見物しても足りない位でしたが、次の目的地である大雄院様へ移動。

桐生市内の立派な寺院で、境内も広く、本堂や仏具も荘厳でした。本尊様に参拝後、副住職様より寺院の歴史を聞くことが出来ました。ほか、境内に今夏完成した素晴らしい三重塔も拝見。我々参拝者にはお茶お菓子の接待のほかお土産まで頂き、本当に有難く思いました。

館林うどんでは有名な料理店もり膳にて昼食後、茂林寺様へ参拝いたしました。境内には狸の石像が参道両脇に沢山並んでおりました。堂内には、分福茶釜や様々な狸の像などが飾っておりました。参拝後、住職様より分福茶釜の話等を拝聴。お茶お菓子の接待を受けお寺を後にしました。

次に宗龍寺様に参拝いたしました。宗龍寺様は仁叟寺東堂様の出身寺院で今秋開山三百五十年記念と山門落慶法要を修行されたということです。本堂にて住職様にお寺の現在に至るまでのお話を聴きました。お茶お菓子の接待のほか、回信と書かれたお土産も頂戴いたしました。

最後に永明寺様に参拝いたしました。住職様は現在、曹洞宗群馬県宗務所長を務めておられます。境内の樹齢七百五十年の金木犀の大木は国指定天然記念物で、昭和四十一年の台風で倒れましたが、お寺を中心とした関係者各位の努力に依って立派に再生いたしました。本堂での住職様のお話を賜り、今春に落慶法要を行ったという檀信徒会館にてお茶お菓子を頂きました。

帰路は、桐生太田インターより、途中サービスエリアにて休憩しつつ、予定通り午後六時頃、仁叟寺様に到着。今回の寺院参拝研修旅行では、方丈様始め関係者の方々に色々とお世話を頂き、厚く御礼申し上げます。一泊の温泉研修旅行より、有意義で楽しく心安らぐ旅行が出来ました。来年も又、この旅行に参加出来ます事楽しみにしております。色々とお有難うございました。



永明寺さまに於いて記念集合写真

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。昨年を象徴する漢字は「変」であったそうですが、皆様に於かれましては様々な事があったことと推察いたします。

住職地龍源寺はもちろん副住職地仁叟寺及び宗務所執務もあり、昨年に引き続きバタバタとしております。出来ることはしっかりと務めさせていただこうと思っておりますので、何卒、本年も宜しくお願い申し上げます。合掌

